

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版63号



平成 26 年 8 月 21 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamato.net

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在35歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会土木委員会、予算特別委員会委員、土浦市消防団第27分団員(操法大会へ4度出場)。

●9月4日(木) 県議会代表質問

暑い日が続いております。青山は現在、9月議会本会議の代表質問準備の日々です。代表質問は、本会議で行う各会派の代表による県政に対する質問で、議員個人による一般質問と区分されるものです。従って、今回は地元関連の質問ではなく、県全般を見た質問が中心になることをご容赦ください。

現在のところ質問項目は、①茨城県の成長戦略として起業やベンチャー企業への支援、人材の育成、訪日外国人観光客の誘致策②国会で6月に成立した「地域医療・介護総合推進法」を受けての茨城県の医療提供体制の再編や介護システムの構築③子どもたちへの学習支援策④霞ヶ浦の浄化策や水産業の振興④犬猫の殺処分減少への取り組みなどを取り上げようと考えております。

●一人当たりの県民所得、茨城県は？

毎年この時期になると政府からさまざまな新しいデータが公表されます。例えば厚生労働白書なるものは全492ページにわたり、さまざまな調査結果が出ているので政策や県議会質問を考える上で参考になります。

その中に「幸福度調査」というものもあります。10点満点で全世代の平均が6.38点。20～39歳が6.03点で、若い世代になる程、幸福度が低くなる傾向が出ています。因みに性別で見ると女性の方が男性より幸福度が高い結果になっております。

また、「不安や悩みがあった時にすること」では、世代ごとの行動が顕著に分かれます。若い世代は「寝てしまう」や「何か食べる」、「買い物をする」、「見て見ぬ振りをする」の割合が他の世代に対して高い一方、「積極的に解決する割合が低い」という結果になっております。この結果をご覧になっ

て皆さまはどのように感じますか。また、内閣府の最新のデータでは、一人当たりの県民所得で茨城は全国第6位であります。因みに茨城より上位は上から順に東京、静岡、愛知、滋賀、富山です。さらに言うと茨城の県内総生産は東欧のハンガリーくらい規模というのも面白いです。

●いばらき総合文化祭が閉幕

高校生の文化部のインターハイと言われる総合文化祭が今年の夏、茨城県で行われました。その名も「いばらき総文2014」。地元土浦では弁論大会が開催され、47都道府県の代表66人による主張展開されました。実際、22人の弁論を聞きましたが地域の課題から政治、国際問題まで多彩な内容であり青山自身、学ぶことができました。

高校生たちの主張の中で特に印象に残った言葉をいくつか挙げると、「日本の未来を考えることは、私自身の未来を考えることと同じこと」、「私たち世代がどう行動すれば世界の平和に繋がるのか」、「見えるところで発する言葉は人を動かすことに繋がる」などです。素晴らしい主張ばかりでした。

●市内危険箇所改善への取り組み結果

以前、県議会報告かわら版において、県内全域の通学路における安全対策の実施状況について記載し、「これからも市内の通学路における危険があれば学校やPTAを通して青山までご連絡ください」と書いたところ、いくつかの地区の皆さまからご相談を受けました。

その後、地元の地区長さんや地権者さんそして茨城県土木部の協力を頂き、右靱小学校通学路、藤沢小学校通学路などの危険箇所には歩道を設置するなどの改善ができました。もちろん、関係各位の皆さまのご協力があったからできたことであります。現在もいくつか取り組んでいるところがありますので、改善次第、順次報告していきたいと思っております。